

平成26年度事業報告書

近年における少子高齢化、核家族化の進展により、社会を取り巻く環境が大きく変化しています。さらに地域住民のつながりが一段と希薄化していく一方で福祉ニーズも多様化しています。こうした中、本市においても、高齢者単身世帯の増加や高齢者のみの世帯が増加し、介護や日常生活上の支援など家庭の中だけでは解決できない様々な生活課題を抱える世帯が増加しています。また、高齢者世帯だけでなく、子育て家庭や障がいのある人などが抱える生活課題は、複雑化、多様化し課題解決が困難なケースが増加しています。

このような社会状況にあって、福祉の充実を図りさまざまな人たちが共に支え合い助け合いながら、援助を必要とする人と共に生きる地域社会の実現を目指して、各種の福祉施策を推進していくことが強く求められています。

このため、社会福祉協議会は、地域社会福祉活動の推進や在宅サービス等の活動をはじめ、藤岡市はもとより関係機関や団体等との緊密な連携を図りながら、平成26年度事業計画で定めた重点事業である、「障害福祉サービスの充実」や「介護保険事業の効率的な運営」に努め以下の事業を実施いたしました。

1. 会員の状況

・普通会員数	19,904世帯	(昨年比 87)
・賛助会員数	247世帯	(昨年比 △27)
・特別賛助会費納入者数	329社	(昨年比 △5)

2. 会議開催状況

・理事会	8回
・評議員会	4回
・監査会	1回
・広報委員会	3回

3. 広報活動

年3回発行する「社協だより」と共に、市広報に掲載を依頼して福祉事業のピーアールに努めました。

4. 指導・育成

(1) 役員の研修については会議等を通して資質や知識の向上に努めました。

ボランティアについても資質の向上とグループ間の交流を深めるため、各種講習会、研修会等を開催して、指導、育成に努めました。

(2) ボランティア養成講座を開催して、その育成に努めました。

◇手話通訳奉仕者養成講座 53日(入門・基礎) 延べ 334人参加(修了証:入門6人 基礎講座5人)

◇点訳奉仕者養成講座 3日（土曜コース）延べ 13人参加

5. 地域福祉活動 心配ごと相談や結婚相談を定期的に開催して、社会不安の解消や結婚活動の相談等に努めました。

事業名	開催日数	相談件数	紹介件数	成立件数
心配ごと相談事業	50日	102件	—	—
結婚相談事業	34日	270件	13件	1件

6. ボランティアセンター

市民の善意に基づく金品の寄付を受けました。

◇一般寄付	23件	1,988,297円
◇愛の募金	3件	32,910円
◇物 品	35件（米、タオル、介護用品、その他日用品）	

7. 福祉関係団体助成

福祉関係団体等との連携を図って活動の推進に努めると共に、民児協、連合婦人会、身障連、子ども会育成会、保育部会に助成を行いました。

8. ふれあい型食事サービス事業

見守りが必要な高齢者の方などが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、定期的に地域のボランティアなどが訪問し、安否確認や孤独感の解消を図るとともに、同時に地域住民の福祉活動に対する意識を高め、近隣でのたすけあいの輪が広がるように70歳以上の近隣に子供のいない虚弱な高齢者等へ藤岡地区は月4回、鬼石地区は月2回の食事サービスを行いました。

藤岡地区	46日	延べ配食数	2,132食
鬼石地区	24日	延べ配食数	132食

9. 在宅介護サービス

(1) 介護保険サービス

◇栗 須

・居宅介護支援（ケアマネジャー）	244日	延べ	1,760人作成（ケアプラン）
・訪問介護（ホームヘルパー）	259日	延べ	4,642回訪問
・通所介護（デイサービス）	306日	延べ	6,060人利用

◇鬼 石

・通所介護（デイサービス）	255日	延べ	3,409人利用
---------------	------	----	----------

(2) 介護保険外サービス

・在宅介護支援センター（栗須）	365日	延べ	904回訪問
・在宅介護支援センター（鬼石）	365日	延べ	1,100回訪問
・訪問介護（ホームヘルパー）	259日	延べ	1,053回訪問
・通所介護（デイサービス）	306日	延べ	373人通所
・介護タクシー	244日	延べ	912回稼働

10. 高齢者自立センター事業及び日常生活自立支援事業

◇高齢者自立センター藤岡 介護認定審査の結果、非該当者で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に事業を推進しました。

・デイサービス事業	200日	延利用者数	1,363人
・ホームヘルプ事業	244日	延利用者数	531人
・転倒骨折予防	44日	延利用者数	358人
・介護教室	3日	延利用者数	9人

◇高齢者自立センター鬼石 介護認定審査の非該当者で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に事業を推進しました。

・デイサービス事業	200日	延利用者数	890人
・ホームヘルプ事業	138日	延利用者数	163人
・転倒骨折予防	44日	延利用者数	192人

◇日常生活自立支援事業 主に判断能力が不十分な方が安心して生活できるよう、日常的な金銭管理や、通帳預かり等の支援を行っています。

・相談件数	507件	契約件数	8件(認知3件 知的1件 精神4件)
		利用件数	27件
・登録支援員数	19人	稼働時間	492時間 (賃金850円/時間)
・延べ利用者数	290人		

11. 栗須の郷及びゆったり館運営事業

市民に浴場の利用やレクリエーションの場等を提供して、市民福祉の向上に努めました。

◇栗須の郷 開館日数309日 利用者数 83,312人 (市内利用 69,683人, 83.64%)

◇ゆったり館 開館日数204日 利用者数 5,288人 (65才以上 3,682人 69.62%)

12. ミニデイサービス事業

概ね75歳以上の高齢者を対象に市内64会場でミニデイサービスを開催し、地域に暮らす高齢者の介護予防に努めました。

・年間利用者延べ数	6,837人	述べ年間開催数	781会場	会場数	66ヶ所
					参加費300円(月1回)

13. 学童保育所運営事業

仕事などの事情で昼間保護者がいない家庭の児童を預かる学童保育所の運営を市から受託

して行いました。

◇みどの学童クラブ 開館日数 292日 学童保育登録者数 45人

14. 歳末助け合い運動 「みんなで支え合う温かい地域づくり」を目指して、毎戸100円以上の助け合い募金をお願いしました。

地区名	平成26年度(円)	平成25年度(円)	前年対比(円)
藤岡	446,950	457,500	△10,550
神流	264,700	264,700	0
小野	368,900	359,600	9,300
美土里	250,000	248,000	2,000
美九里	163,200	164,000	△800
平井	124,600	125,200	△600
日野	60,300	60,000	300
鬼石	223,964	225,886	△1,922
合計	1,902,614	1,904,886	△2,272

15. 各種援助活動 生活困窮者等の弱者を対象に相談支援や資金貸付を行い安定した生活が送れるよう制度の推進に努めました。

(1)

	貸付件数	相談件数
総合支援資金(離職者支援資金含む)	2	17
福祉費	9	35
緊急小口資金	17	57
教育支援資金	0	12
不動産担保型生活資金	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	2
臨時特例つなぎ資金	0	1
合計	28	124

・藤岡市社協の独自制度

	貸付件数	相談件数
社協貸付制度による小口生活資金貸付	9	45
社協緊急時食料支援	7	9

(2) 災害見舞い（火災） 6件 80,000円

（見舞金規程 全焼 10,000円 半焼 5,000円 死亡 10,000円）

(3) 行路者救済 3件 900円（1件 300円）

16. 老人福祉車の一部購入補助事業

高齢者の日常生活を支援するため、老人福祉車の購入に助成して老人福祉向上に努めました。

補助台数 30台 金額 150,000円

17. 介護慰労金受給者激励品贈呈事業

人数 75人

18. 収益事業

(1) 福祉バザーの開催

6月15日(日)市民ホールを会場に区長会、民生・児童委員協議会、連合婦人会、ボランティア連絡協議会と福祉バザーを行いました。

・バザーの提供物品数 4,965点 売上金額 883,101円

(2) 自動販売機清涼飲料売り上げ代 収益金 187,854円

19. 福祉教育推進事業

(1) 児童・生徒が体験学習の機会を通じて社会福祉への理解と関心を高め、日常生活場面での相互扶助、社会連帯が大切なことを認識させるため小・中学校を対象に福祉教育の推進を図りました。

・体験用具の貸出や実習実施の補助として福祉教育の推進に努めました。

(2) 実習生の受け入れ 本市出身者を中心に受入に努めました。

20. 安心カード交付事業

ひとり暮らし老人等を中心に民生児童委員協議会と共催で安心カードの交付を行いました。緊急連絡先、かかりつけ医、服薬情報等を記載したカードを冷蔵庫に保管しておくことにより万が一、緊急時の対応が出来る安心・便利なカードを配布しました。

配布累計 65歳以上のひとり暮らし世帯 1,614世帯
 障がい者（児）のいる世帯 98世帯
 その他の世帯 136世帯
 合計 1,848世帯

21. 見守り支援推進事業

地域での様々な課題について地域全体で取り組む体制の構築が必要とされる中、ひきこもりに焦点をしぼり、事業に取り組みました。

その事業の一環として、「ひきこもり家族のライフプラン～親亡き後を生きるために～」をテーマに講演会を実施しました。 講演会参加者 180名

22. 障害者地域活動支援センターさくらの家の受託経営

平成26年度の1年間（平成26年4月1日から平成27年3月31日）として藤岡市から受託経営しました。

開設日数：242日、年間利用者数：延べ1,894人、登録人数：11人

仮設事業場所：藤岡氏社会福祉協議会鬼石支所2階

23. 障害福祉サービス事業所の建設事業

藤岡市が所有している「障害者地域活動支援センターさくらの家」の建物を藤岡市が取り壊し、障害のある人が利用しやすい障害福祉サービス事業所の建物を社会福祉協議会が建設しました。

名称：さくらの家 所在：藤岡市鬼石624番地1 構造：鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建て
床面積：452.43㎡ 約136.83坪

工事費 建築工事費：101,131,200円 外構工事費：7,570,800円

実施設計、監理業務委託費：7,236,000円 合計：115,938,000円

事業概要 利用定員 生活介護10人 就労継続支援B型10人

利用要件 障害福祉サービス受給者証（生活介護、就労継続支援B型）の支給決定を受けた方。

事業所の営業日及びサービス提供時間

月曜日から金曜日 午前9時30分から午後3時30分（但し、年末年始及び祝祭日は休業となります）。